

平成23年度 ケアハウス有明事業計画

1 運営方針

ケアハウス有明は、自炊ができない程度の身体的機能の低下が認められ、独立して生活するには不安がある高齢者が利用する施設（定員40名）として平成15年8月に開設し、7年7ヶ月が経過しました。

当施設は、「利用者の自主性と自立性を尊重し、安心して健康で充実した生活を送ってもらう」ことを基本理念としており、利用者が生きがいを持ち、潤いのある生活を送れるようサービスの充実に一層努めるとともに、地域住民、法人内施設利用者などとの交流も合わせて促進していきます。

2 事業計画

(1) 利用者サービス

- ① 健康で、自立した生活ができるよう、日常生活面での不安や悩みに対して、心理・情緒面でのサポートを行うほか、年度当初に「個人面談」を実施、状況によっては複数回行うなど、個々のニーズにあったサービスの提供を図ります。
- ② 食事については、食中毒の予防に万全を期するとともに、地産の食材等も取り入れながら、季節感や郷土食を味わえる献立づくりと、楽しく食事ができるよう嗜好調査を行い、希望に添うような食事の提供に努めます。
- ③ 生きがいをもって健やかに生活ができるよう、レクリエーションや軽運動、文化活動を実施、また、利用者同士の親睦を図るため気軽に参加できる茶話会や季節に応じた行事を開催、さらにボランティアの協力を得ながら、活発に人と人との交流を促進していきます。

(2) 健康管理・衛生・安全対策

- ① 健康管理には、常日頃から利用者の健康状態を把握し、早期疾病対策に努めるとともに身元保証人と密接な連携を図ります。
- ② 事故・感染症等の対策として、定期的に委員会を開催し、施設内、施設周辺の整備、衛生面の管理について協議します。また、利用者には、予防方法を指導し、防止に努めるとともに、緊急時には、対応マニュアルに基づく迅速な対応を行います。
- ③ 防災対策として、災害発生時に迅速かつ適切に避難ができるよう、定期的に防災訓練を実施するとともに、法人内の各施設との共助と専門家による指導も取り入れ、防災意識の高揚に努め、併せて防災用食品・物品の備蓄を行います。

(3) 地域交流

法人内の利用者や地域住民がふれあう場として、地域交流スペース「さんざし」や当施設の機能を活用し、世代を超えた多くの仲間づくりを行います。

(4) 職員の資質向上

職員の資質向上と視野拡大を図るため、先進的施設の視察を実施するとともに、専門分野や一般教養等の幅広い研修に積極的に参加し、自己研鑽に努めます。